



Kimura Eye & Int Med Hospital

ひかりいっぱい新聞

新病院長に「筑後の守護神」 山川良治先生が就任

山川良治 院長 ご挨拶

院長退任・名誉院長就任のご挨拶 名誉院長 木村 亘

副院長退任・名誉副院長就任のご挨拶 名誉副院長 木村 治

新病院長のもと次の100年に向かって 木村 友剛・木村 格・木村 聡

新病院長に「筑後の守護神」 山川良治先生が就任

～院長・副院長は離任～

理事長 木村 徹



この度、小院が法人化して以来、長い間その重責を勤めてまいりました 院長 木村亘と副院長 木村治が離任致しました。新病院が軌道に乗った今さらなる発展を期して次の方にバトンを渡すことになった次第です。新院長には久留米大学前眼科教授 やまかわりょうじ 山川良治先生が就任致します。

山川先生は角膜から白内障、緑内障、網膜、硝子体まで幅広い分野の手術に優れた方で19年間筑後(福岡県南部)の眼科医療の最後の砦として「筑後の守護神」と異名をとられていた方です。

縁あって当地におこし頂けることになりましたが、小院でも世界最先端の眼科医療をと意気込んでおられます。必ずや皆様のお役に立っていただけるものと確信しております。

副院長には木村友剛、木村格、木村聡が昇任致します。

なお亘名誉院長、治名誉副院長もともに診療は続け、今後も全員で力を合わせ皆様に最善の医療をお届けするよう努力して参りますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

山川良治 院長 ご挨拶



本年、4月より縁あって、伝統ある木村眼科内科病院に招いていただき院長として赴任致しました「山川良治」と申します。

私は昭和54年に京都大学医学部を卒業後は、京都大学医学部附属病院眼科、天理よろづ相談所病院眼科、米国California州Doheny Eye Instituteで研鑽を積み、小倉記念病院眼科主任部長、琉球大学医学部眼科助教授、天理よろづ相談所病院眼科主任部長を経て、平成11年からは久留米大学医学部眼科教授に就任しました。

久留米大学では19年間にわたり地域医療に貢献すると同時に、最先端の眼科診療に携わってきました。私はもともと網膜硝子体の臨床・研究が主体でしたが、たくさんの病院で仕事をさせていただいたので、白内障、緑内障から角膜移植、屈折矯正手術まで、あらゆる眼科マイクロサージェリーに関わってきました。特に久留米大学では、海外の学会

に積極的に出席し、有用となる技術を真っ先に取り入れるだけでなく、さらには新しい技術の開発も行ってきました。例えば感染予防に有効なドレープ付き開瞼器の特許をとり、製品化にも成功しています。そして、難治の網膜剥離、増殖硝子体網膜症、増殖糖尿病網膜症や小児緑内障、先天白内障、成人の難治の緑内障の手術を主に手掛けてきました。

今後は、こちらに参りましたからには私の持っている技術を皆様のお役に立つよう提供するだけでなく、伝統によって培われたすばらしい木村眼科内科病院の医療をさらに発展させ、皆様に喜んでいただけるよう最良、最高の医療を実現できるように頑張りたいと思います。



米国California州Doheny Eye Instituteで働いていたときの、病院の前での若き日の写真です(1987年頃)。

院長退任・名誉院長就任のご挨拶

名誉院長 木村 亘



昭和49年(1974年)4月11日から木村眼科内科病院で前理事長・院長(父)のもとで仕事を始めました。4ヶ月後には体調がすぐれなくなった父に代わり院長職を託されました。その時はまだ28歳。以後、兄(理事長)や弟(副院長)と共に仕事に打ち込み、次第に患者様も職員も増え続け今日に至ることができました。

初めて眼内レンズ手術を導入した時や海外(インドやインドネシア)でのライブ手術の思い出、アメリカ・カナダ・フランス・スウェーデン・オーストラリア・ドイツ・シンガポール・ポルトガル・インドetcでの学会にも出席し発表も沢山させていただきました。

数年前の『病院100周年史』編集にもたずさわられたのも大きい喜びでした。しかし、期待に反し良い結果とならなかった症例を何度も経験した事は忘れ難いことです。幸いいつも扶けてくれた

職員や大勢の患者さんからの信頼や励ましにより、その都度何とか立ち直ることができました。今思い起こすと「感謝」しかありません。

平成30年3月末をもって院長職を山川良治先生に譲ることになりました。44年間の院長職は退きますが健康の許す限り、今後は一眼科医(名誉院長と呼ばれるようです)として手術も含め診療を続けさせていただきますので、引き続きよろしくお願い致します。

副院長退任・名誉副院長就任のご挨拶

名誉副院長 木村 治



このたび3月31日付で木村眼科内科病院の副院長を退任する事になりました。

昭和55年に内科が創設されて以来、約40年にわたり患者さんやスタッフのおかげで大過なく診療できました事を改めて感謝申し上げます。思い返してみますと、医学生の頃から亡き父(先代の理事長)が、『眼科疾患の中には内科疾患から発生する病気も多く、また白内障をはじめ種々の手術を受けられる患者さんは高齢者が多い、これからの眼科診療には内科医が必要だ。』と話しており、私はその意図を汲み取り自然に内科医への道を歩んできました。

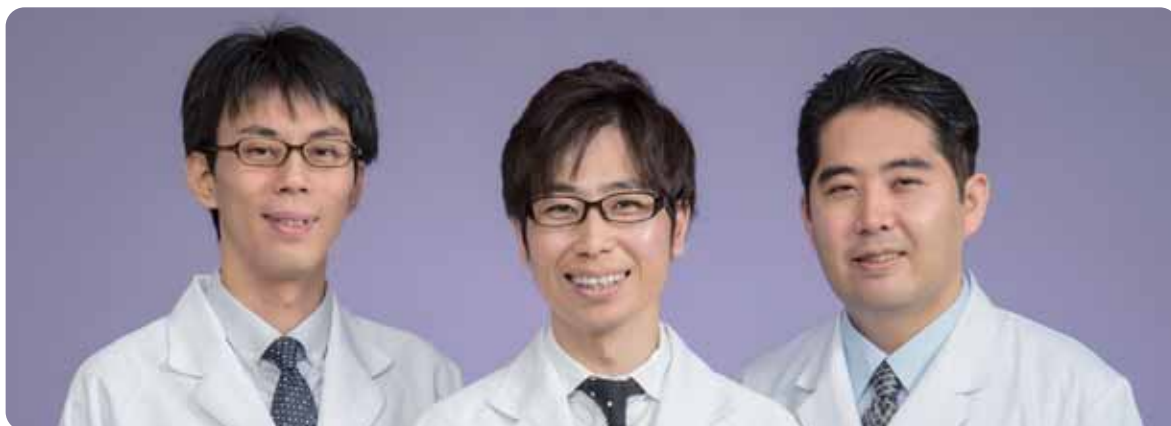
病院運営につきましては、兄である理事長や院長をサポートし、新病院建設につきましても微力ながら貢献できたかとも感じております。

今後は副院長や理事の職は辞しますが、一内科医として木村眼科内科病院にて引き続き診療をして参ります。どうぞよろしくお願い致します。

新病院長のもと 次の100年に向かって

木村眼科内科病院は山川院長の新体制のもと、より質の高い医療、きめ細やかな医療サービスの徹底と向上に向け、新たにスタートを致しました。その一環として今年度は病院組織力を強化すべく、組織の改編と次の100年を視野に入れて新たに3名が副院長に就任致しました。

より良い医療サービスを提供できますよう、スタッフ一同努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



木村友剛 医師

この度、新たに山川院長を迎え、格医師、聡医師と同じく副院長となりました。

新体制となりますが、当院が目指す医療は変わりません。

一人でも多くの患者さんが安心して治療をうけ、喜んでいただけるように努力して参ります。

より信頼していただけるような病院になるように、これまで以上に情熱を持ち、真摯な姿勢で診療にあたりたいと思います。今後とも何卒よろしくお願ひ致します。

木村格 医師

当院がより進化するため、新たに形を変える事となりました。

目を患う全ての患者様に最先端で最適な治療を提供できる病院、そして病で淀んだ患者様のココロもパツと晴れやかになるような病院づくりを私の医師生命が尽きるまで友剛先生と聡先生と一枚岩となりその責任を果たしていく所存です。

山川新院長を先頭に全職員力を集結し患者様の治療に立ち向かわせて頂きます。今後ともよろしくお願ひ致します。

木村聡 医師

本年4月から木村眼科内科病院副院長を拝命致しました。

当院は皆様に信頼される病院としての役割を果たしていく使命があり、その責任の重さを痛感しております。

若輩の身ですが山川新院長を中心にスタッフ全員が同じ方向を向いていけるような病院をまとめていく事に尽力したいと考えております。

眼科で迷う事があれば気楽にご相談下さい。今後ともよろしくお願ひ致します。

医療法人社団ひかり会

木村眼科内科病院

〒737-0029 広島県呉市宝町3-15

TEL : 0823-22-5544 [代表]

0823-21-1000 [病棟専用・夜間・休日]

FAX : 0823-25-9010

医療法人社団ひかり会

焼山木村眼科

〒737-0935 広島県呉市焼山中央1丁目10-9

TEL : 0823-33-8259

FAX : 0823-33-8279

<http://www.kimura-eye.or.jp/>

木村眼科

検索

できます。